

Come ride with us. **HONDA**



NEW
CB750



原点。 90年代、世界はめまぐるしく移り変わり、モーターサイクルをめぐる環境も、ライダーの気分も大きく変わった。せわしない毎日だからこそ、モーターサイクルにはゆったりと、自分のペースで乗りたい。上質な時間を過ごしたい。そういうライダーが増えてきた。こうした時代の流れのなかでわたしたちは、ナナハンはいかにあるべきかを考え続け、ここにひとつの答として、CB750を提案する。モーターサイクルと初めて出会ったときの、あの胸のときめき、あの躍の輝きを大切に熟成を重ね、たくましく磨きあげられた直4マシンの原点、ニッポンのナナハン。90年代の、新しいCB750の登場です。



原点。

90年代、世界はめまぐるしく移り変わり、モーターサイクルをめぐる環境も、ライダーの気分も大きく変わった。せわしない毎日だからこそ、モーターサイクルはいかにあるべきかを考え続け、ここにひとつの答として、CB750を提案する。モーターサイクルと初めて出会ったときの、あの



ターサイクルにはゆったりと、自分のペースで乗りたい。上質な時間を過ごしたい。そういうライダーが増えてきた。こうした時代の流れのなかでわたしたちは、胸のときめき、あの瞳の輝きを大切に熟成を重ね、たくましく磨きあげられた直4マシンの原点、ニッポンのナナハン。90年代の、新しいCB750の登場です。

走りのクオリティを語るモーターサイクルでありたい。

直4テクノロジーの粋を結集。90年代ビッグバイクの新たな成熟をカタチにしたCB750。

パワーユニットには、あくまでも日常レベル、五感レベルの快適性を重視して、熟成を重ね、もはや円熟の極みともいえるホンダ自慢の空冷インラインフォアエンジンを搭載した。一貫してその熟成を志してきたこのエンジンユニットは、今回新しいCB750のために各部をリファイン。モーターサイクルを愛し、モーターサイクルを知り尽くしたエキスパートライダーたちの熱い期待に応えるべく、耐久性と静粛性、そして高いクオリティの実現をテーマに徹底してブラッシュアップ。動力性能においてはスムーズなトルクフルを目標にリファインされ、いわばホンダのエンジンテクノロジーの原点とも言うべき、直4テクノロジーの粋を結集して完成された。

定評あるオートバルブクリアランスアジャスターを新装。
エンジンキャラクターの中心ともいえるバルブまわりでは、定評ある油圧式オートバルブクリアランスアジャスターを装備するとともに、その作動性をさらにソフィスティケート、メンテナンスフリー化を徹底するとともに、バルブ径とバルブタイミングについては、ともに低中速を重視した仕様を採用。さらに、エンジンの耐久性や日常的な快適性を左右するカムチェーンテンショナーやクラッチ、ミッション各部も、加工精度を高めて耐久性、静粛性向上を図ると、エンジンユニット全体の熟成を深めている。また、こうした出力特性や耐久性、信頼性アップの努力の一環として、エンジンパフォーマンスの安定化に寄与する、放熱効果に優れたアルミ6段コップ大容量オイルクーラーも標準装備している。

解析を重ねて生み出された力強い鋭切れのよいビートサウンドが、躍動感に満ちた心地よいライディングを約束。
エンジンパフォーマンスを図るに際して忘れてはならないのが排気システム。日常ユース、ツーリングユースでの快適性を重視したCB750の排気系には、シンプルながら2エキゾーストシステムを採用。良質なクロームメッキで表面処理を施された美しい本構成のマフラーは、排気駆動効果を最大限に引き出して排気効率を高め、CB750ならではの「パワフルなスムーズな低中速」ハイクを実現。同時に、快適性、心地よさの実現というコンセプトに沿って解析を重ねて生み出されたCB750独特の力強い鋭切れのよいビートサウンドが、躍動感に満ちた心地よいライディングを約束する。



走りのクオリティを語るモーターサイクルでありたい。

直4テクノロジーの粋を結集。90年代ビッグバイクの新たな成熟をカタチにしたCB750。

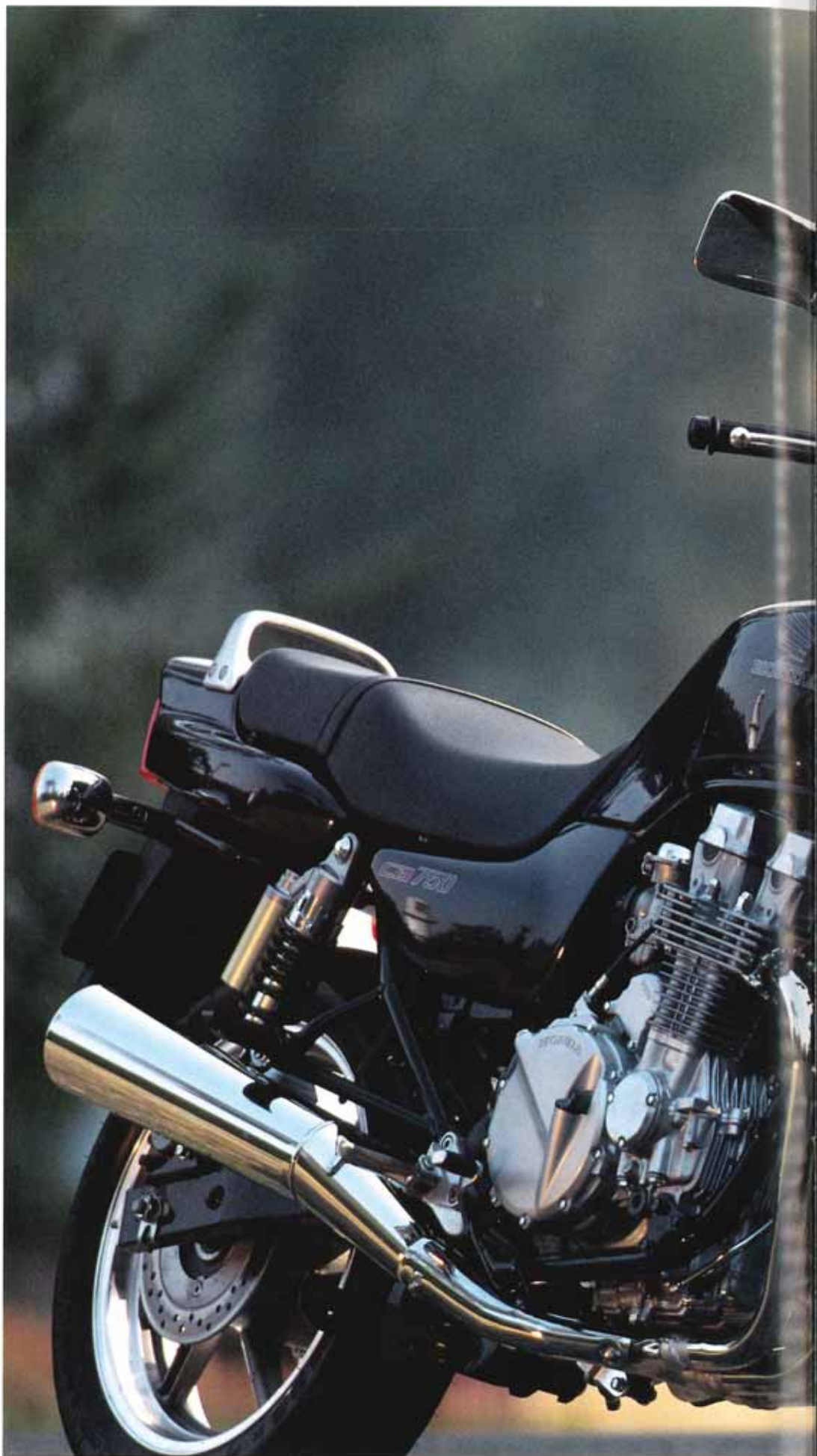
パワーユニットには、あくまでも日常レベル、五感レベルの快適性能を重視して、熟成を重ね、もはや円熟の極みともいべきホンダ自慢の空冷インラインフォアエンジンを搭載した。一貫してその熟成を志してきたこのエンジンユニットは、今回新しいCB750のために各部をリファイン。モーターサイクルを愛し、モーターサイクルを知り尽くしたエキスパートライダーたちの熱い期待に応えるべく、耐久性と静粛性、そして高いクオリティの実現をテーマに徹底してブラッシュアップ。動力性能においてはスムーズ & トルクフルを目標にリファインされ、いわばホンダのエンジンテクノロジーの原点とも言うべき、直4テクノロジーの粋を結集して完成された。

定評あるオートバルブクリアランスアジャスターを装備。

エンジンキャラクターの中心ともいべきバルブまわりでは、定評ある油圧式オートバルブクリアランスアジャスターを装備するとともに、その作動性をさらにソフィスティケート。メンテナンスフリー化を徹底するとともに、バルブ径とバルブタイミングについては、ともに低中速を重視した仕様を採用。さらに、エンジンの耐久性や日常的な快適性を左右するカムチェーンテンショナーやクラッチ、ミッション各部も、加工精度を高めて耐久性、静粛性向上を図るなど、エンジンユニット全体の熟成を深めている。また、こうした出力特性や耐久性、信頼性アップの努力の一環として、エンジンパフォーマンスの安定化に寄与する、放熱効果に優れたアルミ6段コア大容量オイルクーラーも標準装備している。

解析を重ねて生み出された力強く歯切れの良いビートサウンドが、躍動感に溢れた心地よいライディングを約束。

エンジンパフォーマンスを語るについて忘れられてはならないのが排気システム。日常ユース、ツーリングユースでの快適性を重視したCB750の排気系には、シンプルながら4-2-2エキゾーストシステムを採用。良質なクロームメッキで表面処理を施された美しい2本構成のマフラーは、排気脈動効果を最大限に引き出して排気効率を高め、CB750ならではのパワフルでスムーズな低中速トルクを実現。同時に、快適性、心地よさの実現というコンセプトに沿って解析を重ねて生み出されたCB750独特の力強く歯切れの良いビートサウンドが、躍動感に溢れた心地よいライディングを約束する。





走り込むほどに魅力を増すマシンでありたい。

軽快にして、重厚。スムーズで快適な走りを実現する
熟成の足まわり。

モーターサイクルの基本動作を支える足まわりもまた、
CB750はひとつの熟成を示している。フロントには、 ϕ 296mm
ディスクにピンスライド式1ポットキャリパーを組み
合わせたダブルディスクブレーキを、リアには、 ϕ 240
mmのディスクにピンスライド式1ポットキャリパーを組み
合わせたシングルディスクブレーキを装備。軽快にして
重厚なフットワークを支えるリアの足まわりには、不等ピ
ッチのコイルスプリングとリザーバータンク付ダンパー
を組み合わせたコンベンショナルなサスペンションを
配置。このダンパーメカニズムは、作動性向上のため
に伸側、圧縮側それぞれに独立したオイル回路を配した
SPV(Shock Progressive Valve)により、安定した
減衰力特性を実現。快適な乗り心地をもたらすとも
に、高い路面追従性をも確保している。また、足まわりの
基本ともいべき前後タイヤには、快適な走行フィール
と耐久性を兼ね備えたミシュランのラジアルタイヤを標
準装備するなど、さげない充実ぶりでその成熟を語り
かけている。

日常ユースや長距離ツーリングでの快適性を求めて、
低重心化とともにロングホイールベースを実現した
高剛性フレーム。

充実のパワーユニットと成熟の足まわりを支える脚の主
役は、あくまでも実質的クオリティを重んじた軽量・高剛
性ダブルスレッドフレーム。日常ユースや長距離ツー
リングでの快適性を求めて、低重心化とともにロング
ホイールベースを実現。さらに、剛性アップのために、
エンジンブロックを剛性メンバーに取り入れて、横剛
性、捻れ剛性のマージンを大きく確保。しつとりとした乗
り味のなかに、優れた運動性能を調和させ、CB750な
らでは高い汎用性を実現している。

ツーリング本格派のニーズにも応える大容量20ℓフ
ューエルタンクと各種充実装備。

力強いオーガニックデザインで造形されたフューエル
タンクは、ツーリングユースでその真価を発揮する大
容量20ℓを確保。また、モーターはアルミパネルに機
能的にレイアウトされ、賢くコンパクトなクロームメッキの
モーターカバーを装着。さらに、シートには快適性を確保
するとともにニュートラルなライディングポジションに整
った肉厚タイプを採用してロングランにも余裕の対応。リ
アシート後部には、アルミ地盤を活かしたクオリティ感
あふれるグリップを標準装備。また、リアのチールカ
バー内には3ポジションの格納スペースを配置。書類や
工具を収納するとともに小物入れを兼ねている。新時代
の直4・ビッグマシンとして、なにより快適さを重視した
CB750は、周辺パーツもまたここまにいくばかりの充実
ぶりを示している。



走り込むほどに魅力を増すマシンでありたい。

軽快にして、重厚。スムーズで快適な走りを実現する
熟成の足まわり。

モーターサイクルの基本動作を支える足まわりもまた、CB750はひとつの熟成を示している。フロントには、 ϕ 296mmディスクにピンスライド式1ポットキャリパーを組み合わせたダブルディスクブレーキを。リアには、 ϕ 240mmのディスクにピンスライド式1ポットキャリパーを組み合わせたシングルディスクブレーキを装備。軽快にして重厚なフットワークを支えるリアの足まわりには、不等ピッチのコイルスプリングとリザーバータンク付ダンパーを組み合わせたコンベンショナルなサスペンションを配置。このダンパーメカニズムは、作動性向上のために伸側、圧側それぞれに独立したオイル経路を配したSPV(Showa Progressive Valve)により、安定した減衰力特性を実現。快適な乗り心地をもたらすとともに、高い路面追従性をも確保している。また、足まわりの基本ともいべき前後タイヤには、快適な走行フィールと耐久性を兼ね備えたミシュランのラジアルタイヤを標準装備するなど、さりげない充実ぶりでその成熟を語っている。

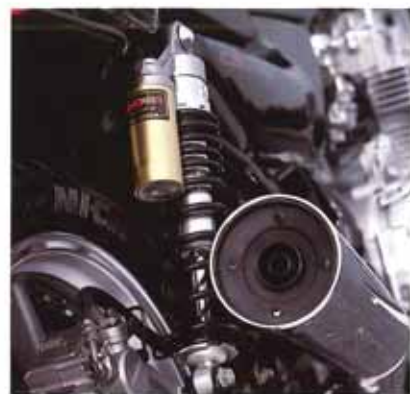
日常ユースや長距離ツーリングでの快適性を求めて、
低重心化とともにロングホイールベースを実現した
高剛性フレーム。

充実のパワーユニットと成熟の足まわりを支える陰の主役は、あくまでも実質的クオリティを重んじた軽量・高剛性ダブルクレードルフレーム。日常ユースや長距離ツーリングでの快適性を求めて、低重心化とともにロングホイールベースを実現。さらに、剛性アップのために、エンジンブロックを剛性メンバーに取り入れて、横剛性、捻れ剛性のマージンを大きく確保。しっとりとした乗り味のなかに、優れた運動性能を調和させ、CB750ならではの高い汎用性を実現している。

ツーリング本格派のニーズにも応える大容量20ℓフューエルタンクと各種充実装備。

力強いオーガニックデザインで造形されたフューエルタンクは、ツーリングユースでその真価を発揮する大容量20ℓを確保。また、メーター類はアルミパネルに機能的にレイアウトされ、贅を尽くしたクロームメッキのメーターカバーを装着。さらに、シートには快適性を確保するとともにニュートラルなライディングポジションに徹した肉厚タイプを採用してロングランにも余裕の対応。リアシート後部には、アルミ地肌を活かしたクオリティ感あふれるグリップを標準装備。また、リアのテールカバー内には3ポジションの格納スペースを配置。書類や工具を収納するとともに小物入れを兼ねている。新時代の直4・ビッグマシンとして、なにより快適さを重視したCB750は、周辺パーツもまたここにいくばかりの充実ぶりを示している。





CB750

●車体色:センシティブブルーメタリック



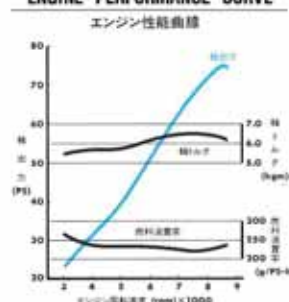
●車体色:ブラック



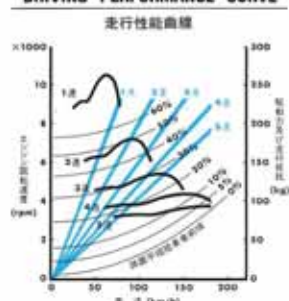
SPECIFICATIONS

型式	RD42
全長 (mm)	2,155
全幅 (mm)	0.780
全高 (mm)	1,100
軸距 (mm)	1,495
最低地上高 (mm)	0.130
シート高 (mm)	0.755
車両重量 (kg)	233
乾燥重量 (kg)	215
乗車定員 (人)	2
燃料消費率 (km/l)	27.0 (60km/h定速走行時)
最小回転半径 (m)	2.1
エンジン型式・排気量	RD17E・空冷4サイクルDOHC4バルブ4気筒
総排気量 (cc)	747
内径×行程 (mm)	67.0×53.0
圧縮比	8.3
最高出力 (PS/rpm)	75/8,500
最大トルク (kgm/rpm)	8.5/7,500
キャブレター型式	VE66
始動方式	セルフ式
点火方式	フルトランジスタ
潤滑方式	圧送潤滑方式
潤滑油容量 (l)	3.8
燃料タンク容量 (l)	20
クラッチ形式	湿式多板コイルスプリング
変速機形式	変速機付5段リターン
変速比	1速 3.000 2速 2.055 3速 1.545 4速 1.240 5速 1.074
減速比 (1速/2速)	1.780/2.600
ギヤスター (度)	28°00'
ドライブシャフト	91
タイヤサイズ	前 120/70R17 58V 後 150/70R17 69V
ブレーキ形式	前 油圧式ダブルディスク 後 油圧式ディスク
懸架方式	前 テレスコピック式 後 スイングアーム式
フレーム形式	ダブルクレードル

ENGINE PERFORMANCE CURVE



DRIVING PERFORMANCE CURVE



バイクが好きだから、セーフティライド。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。●追越しは余裕をもって。
- 点検整備を忘れずに。●心にゆとりのもてるスピードで走りましょう。
- 安全のため改造はやめましょう。●カーブ・交差点ではスピードをひかえめに。
- よく見る、見られるため、昼間でもヘッドライト点灯走行をしましょう。

●バイクには、バイクにふさわしい服装で乗りましょう。

ライディングに求められる服装は、まず機能に徹しています。道路上でよく目立ち、身体にフィットした長袖、長ズボンで、運転しやすい動きやすいものを選びください。ヘルメットのあごひもをしっかり締め、手袋も忘れずに。

●バイクの「ライディング・アドバイザー」があなたのそばにいます。

ホンダ安全運転普及指導員はバイクを安全、快適にお乗りいただくためのセーフティアドバイスや運転技術をお教える、バイクの「ライディング・アドバイザー」です。バイクに関することなら何でもご相談ください。あなたの近隣のホンダ二輪販売店で、ホンダ安全運転普及指導員がお待ちしております。

●HMS(ホンダ・モーター・サービス・スクール)で

得た技術と安全運転の知識を習得しましょう。

ライディングの基本とマナーを徹底的に身につけ、さらに上のクラスの二輪車をめざしたい...そんなライダーのために、交通安全センター(レインボー)横川と、交通安全センター(レインボー)浜松、鈴鹿サーキット交通安全センター、交通安全センター(福岡)にHMSがあります。ここでは経験豊かな専門のインストラクターが確かな技術と安全運転の知識を結得のいくまで指導いたします。お申し込み、お問い合わせは近隣のホンダ二輪販売店へどうぞ。



●「セーフティ・ライディング」についてのアドバイスが気軽に受けられます。

スポーツバイク販売店でバイクをお買い上げの皆さまに「セーフティ・ライディング・アドバイス」を実施しています。安全運転のための知識が身につく小冊子と、ライディング特性やライディング時の注意点、自分の運転のタイプが質問によってチェックできるアドバイスシートを差し上げています。ぜひトライしてみてください。



●安全運転の基本操作と心がまえをカラダで覚えるためのスクールです。

安全運転のカリキュラムをW・ガードナーをはじめトップライダーの助言のもとに作成された「スポーツ・ライディング・スクール」,「的確なマシンコントロールの大切さ」と「自分のテクニックの限界」がわかる実際の交通事情に即した内容で、楽しく安全を学ぶことができます。ビギナーも、ベテランも、気軽に参加してください。

●近隣のバイクライフに精通。

いつでもどこでも使えるH・A・R・Tメンバーズカードがあなたに立ちます。

バイクに乗るたび、きっと新しい発見を待っている。H・A・R・Tは、バイクライフを心からエンジョイしたい人のために、特典やイベントをいろいろと用意したホンダのライダーズクラブです。DC/VISA、ユースホテルとのジョイントで使いみちもグリーンとアップし、いつでもどこでも使えるようになったH・A・R・Tメンバーズカード。これ1枚で、キミのバイクライフはグッと充実。お申し込み、お問い合わせは近隣のH・A・R・T加盟ホンダ二輪販売店へどうぞ。



●より楽しく安全なバイクライフのために、ホンダでは「HSR(ホンダ・セーフティ・ライディング)プラザ」づくりを全国にすすめています。

実践のカリキュラムで、しっかりしたライディングテクニックと安全の知識が身につく「スポーツ・ライディング・スクール」をはじめ、話題のニューマシンの展示試乗会やバイクを使っている遊びなど、イベントがどどりの「HSRプラザ」。さらにはコースの個人使用もOK。ここはバイク好きなキミたちのための気軽な広場です。いま「HSRプラザ」は東京、大阪をはじめ、全国各地にその輪をぐんぐんと広げています。参加のお問い合わせ、お申し込みは「HSRプラザ」所在地のホンダ二輪販売店へどうぞ。



●静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
- いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけてしまいます。

●見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローインダグワン!



人とバイクの友好生活

●ホンダカード

ホンダカードをおもちになると、キャッシュレスで、全国のホンダカード加盟店のホンダ製品及び用品の購入、車検等に、総額100万円(利用限度額)までご利用いただけます。また、簡単な手続きで分割払いもできます。JCBホンダカードは、さらに国内外合わせて160万店のJCB加盟店(全国各地のホテル、デパート、専門店、ガソリンスタンドなど)でもご利用いただけます。



●ホンダ・クレジット

わずかな現金とかんたんな手続きで、ホンダのバイクがあなたにたのびます。



●お問い合わせは、ホンダ販売店(加盟店)へお気軽にどうぞ。

ホンダ東京自販

〒136 東京都世田谷区桜3-20-7
TEL No 03 (3426) 1221 (代)
FAX No 03 (3706) 1220 ENET

HONDA

本田技研工業株式会社
〒147 東京都品川区東品川1-1-1 品川ビル1111
※本カタログの内容は1992年2月現在のもので、